

平成30年度の AMAT活動報告について

公益社団法人 全日本病院協会

平成30年度の AMAT活動報告について

1. 自然災害対応について

1 - 1. 平成30年7月豪雨における活動

1-1. 平成30年7月豪雨における活動

【活動概要】

①先遣AMAT派遣

活動期間：平成30年7月8日～7月9日

活動場所：光生病院（岡山県）・貞本病院（愛媛県）

活動内容：先遣AMATによる被災想定地域の支援ニーズ収集。

AMAT先遣隊は、幹事指定病院（光生病院）で県下の会員病院の被災状況を把握し、岡山県保健医療調整本部にリエゾンとして入り、県内の被災状況を総合的に把握し、全日病災対本部に報告した。全日病災対本部はこれらの情報を基に、AMAT派遣を決定した。

②AMAT派遣

活動期間：平成30年7月9日～7月16日

活動場所：倉敷市保健所・避難所・倉敷中央病院

活動内容：避難所巡回診療AMAT車両による避難所から病院への患者搬送支援

活動隊員数：12病院（77名）

待機隊員数：8病院（延べ8チーム）

③全日病災害対策本部

活動期間：平成30年7月7日～7月16日

活動内容：会員病院等の被害状況に関する情報収集

1-1. 平成30年7月豪雨における活動

①先遣AMAT活動について

【成果】

- ・ 幹事指定病院と連携し、会員病院の被災状況を速やかに確認できた
- ・ 岡山県保健医療調整本部にリエゾンとして入り、医療支援ニーズを把握できた
- ・ 真備地域の保健医療救護活動の指揮所が開設された倉敷市保健所に、AMAT現地統括として入り、活動の指揮を執った
- ・ DSST (Disaster Smart Sharing Tool) を用いた情報共有システムを確立し、全日病
災対本部と連携できた

【課題】

- ・ 先遣隊の選定に苦慮した
- ・ 派遣手段を派遣元病院に頼らざるを得なかった
- ・ DSSTで収集した情報のEMISへの反映に時間と人手を要した